

# 病児・病後児保育に関する アンケート調査 令和6年度



子育て支援課 子ども保育係



# ○病児・病後児保育に関するアンケート調査

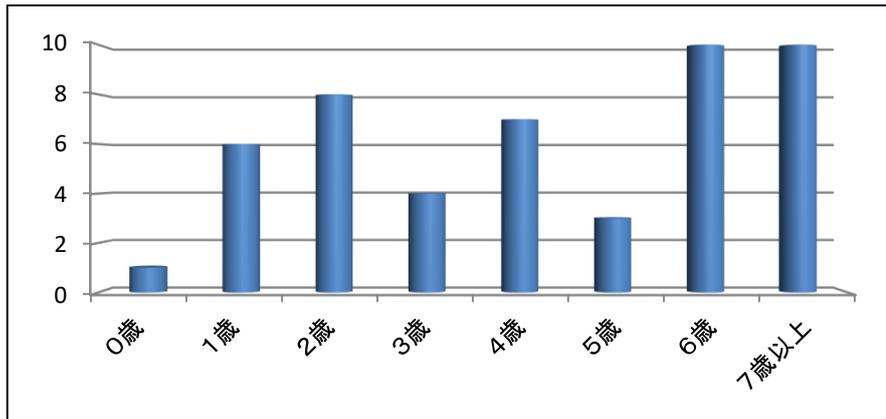
1. 対象者 令和6年度登録世帯 **83世帯**  
 ① 施設開設以降、一度でも利用したことがある世帯 **40世帯**  
 ② 利用したことがない世帯 **43世帯**

2. 実施期間 令和7年2月12日～令和7年2月26日

3. 回収率 39世帯／83世帯 (47.0%)  
 ① 21世帯／40世帯 (52.5%)  
 ② 18世帯／43世帯 (41.9%)

4. 登録している児童の年齢(39世帯)

| 計  | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳以上 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 49 | 1  | 6  | 8  | 4  | 7  | 3  | 10 | 10   |



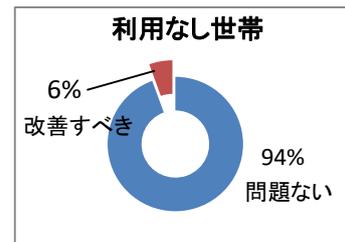
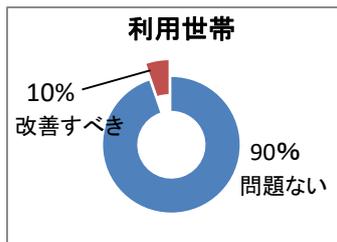
5. 病児・病後児保育に対する評価・感想(39世帯)

①事前登録について

| 利用世帯 |       |
|------|-------|
| 問題ない | 改善すべき |
| 19   | 2     |

| 利用なし世帯 |       |
|--------|-------|
| 問題ない   | 改善すべき |
| 17     | 1     |



<改善点>

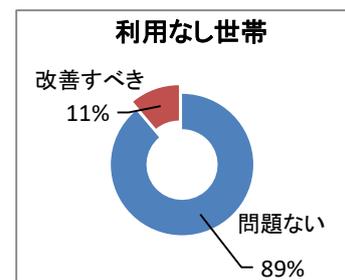
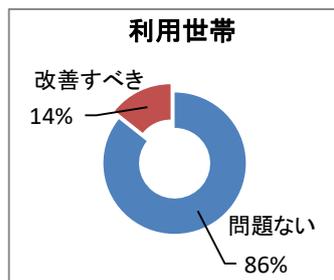
- ・事前登録を知らない人、施設があっても使い方がわからない人も。小学生でも利用できると知らなかったなので、入学説明会で説明するなどしても良いかも。
- ・登録できるタイミングが限られていて困る。保育施設についてから書類書き込みをするのではなく、ホームページから登録できるスタイルも作って欲しい。預ける当日に記載するのは時間がかかってしまう。

②予約方法について

| 利用世帯 |       |
|------|-------|
| 問題ない | 改善すべき |
| 18   | 3     |

| 利用なし世帯 |       |
|--------|-------|
| 問題ない   | 改善すべき |
| 16     | 2     |



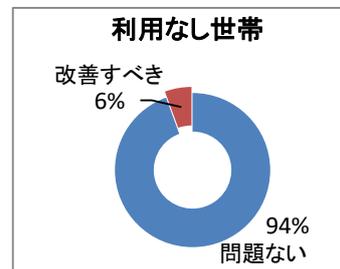
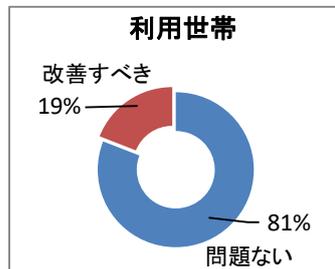
<改善点>

- ・今のまま(電話)でもよいが、予定利用者数がリアルタイムでわかると仕事休みを取るかの判断がすぐできるのでありがたい。
- ・アプリで予約、キャンセルなどできたらよい。
- ・役所が休みの日、事前予約ができないのが困った。預けられないとなったとき、仕事の調整が変わってくるため、ホームページから事前予約、もしくは空き状況がわかるような体制があるとありがたい。

③医師連絡票について

| 利用世帯 |       |
|------|-------|
| 問題ない | 改善すべき |
| 17   | 4     |

| 利用なし世帯 |       |
|--------|-------|
| 問題ない   | 改善すべき |
| 17     | 1     |



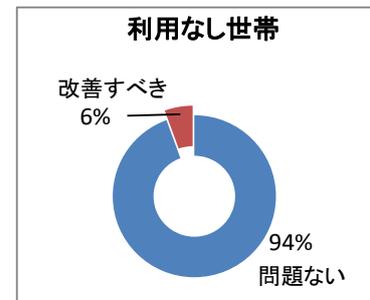
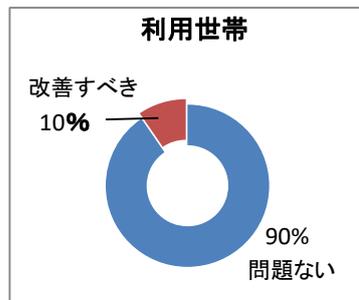
<改善点>

- ・微熱や発熱のない風邪症状(咳・鼻水等)で利用したい場合、わざわざ受診をさせて連絡票をもらうのが手間であると感じる。軽症の場合は、親の判断で利用できると助かる。
- ・しくみや利用方法がよく分からない。
- ・毎回病院にかかって連絡票をもらわないといけないのが大変。
- ・整形外科などの医者も理解していただきたい。
- ・先生によって利用出来ない場合がある。

④利用のめやすについて

| 利用世帯 |       |
|------|-------|
| 問題ない | 改善すべき |
| 19   | 2     |

| 利用なし世帯 |       |
|--------|-------|
| 問題ない   | 改善すべき |
| 17     | 1     |



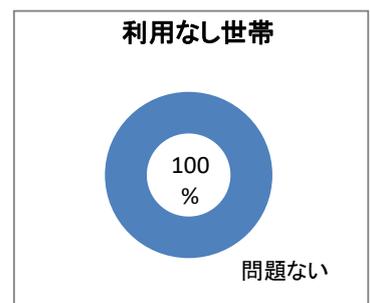
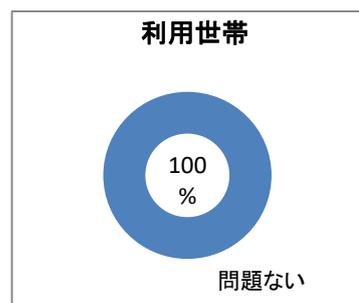
<改善点>

- ・インフル、コロナ等、制限期間が設けられているものについても、解熱しており元気であれば、制限期間内であっても利用できるよう検討してもらいたい。
- ・インフルや溶連菌など隔離期間がある時に、ふつうの保育園と同じ期間利用出来ないの、結局その後保育園に預けられて病児利用したくても出来ない時がある。
- ・インフルエンザなど解熱後登園できるまでの日にちを預かって欲しい。

⑤開室時間帯について

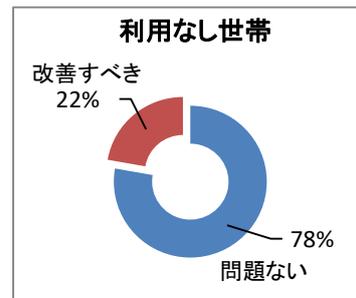
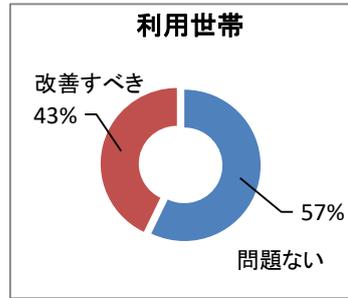
| 利用世帯 |       |
|------|-------|
| 問題ない | 改善すべき |
| 21   | 0     |

| 利用なし世帯 |       |
|--------|-------|
| 問題ない   | 改善すべき |
| 18     | 0     |



⑥利用料金について

| 利用世帯   |       |
|--------|-------|
| 問題ない   | 改善すべき |
| 12     | 9     |
| 利用なし世帯 |       |
| 問題ない   | 改善すべき |
| 14     | 4     |



<改善点>

- ・少しでも安いほうが助かる…
- ・子育て事業は無償化にしている流れもあり、高齢者は通所場所の1日利用自己負担料はもっと安い。せめて市内利用を1,000円でも良いのではないかと感じます。
- ・やや高く感じる。1・2日の利用ならよいが、3日目以降になると利用しづらい。
- ・1日1,000円くらいにしてもらいたい。
- ・2,000円払うなら有給消費します。
- ・半額助成などあったら嬉しい。保育料と5,000円前後の負担になる。
- ・1日利用料が高め。
- ・高いです。仕事にあなをあげられないので利用させてもらってますが、金額設定を下げていただきたいです。もしくは、なにかしら助成対象にならないでしょうか。
- ・食事やオヤツもついているので妥当だとは思いますが、もう少し安いとありがたい。連続で数日は金額的に預けにくいと感じた。
- ・初日は上記の値段でいいが、2日目以降続けてや兄弟共に預ける場合は負担が大きいと感じる。
- ・高い保育料を払いつつ、それとは別に更に料金がかかると、利用のハードルが高く敬遠してしまいます。
- ・もう少し安くしてほしい。

【考察】

病児・病後児保育施設に対する評価・感想としては、実際に利用したことがある世帯の方が「改善すべき」とした割合が高かった。

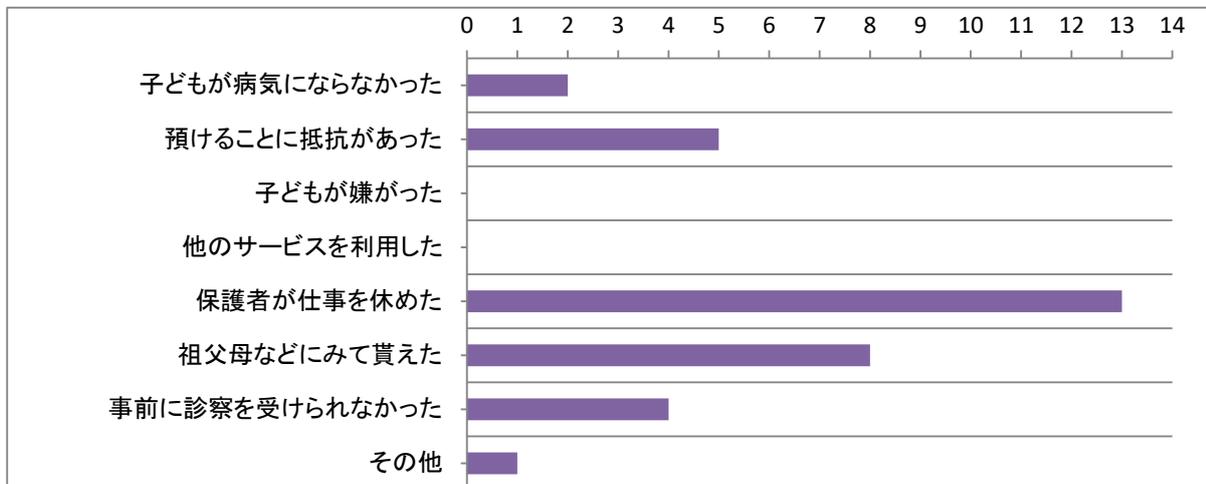
その中で予約方法については、空き状況の確認や予約をアプリやホームページで手続きのシステム化や簡略化を求めるものや医師連絡票の取得に受診を要することが負担となっている等の記述があった。

利用料金については、連続しての利用や兄弟での同時利用に伴う経済的負担が大きく、料金の見直しや助成を求める記述があった。

## ～利用したことがない方～

6. これまで施設を利用しなかった理由(18世帯)【複数回答】

|                |    |
|----------------|----|
| 子どもが病気にならなかった  | 2  |
| 預けることに抵抗があった   | 5  |
| 子どもが嫌がった       | 0  |
| 他のサービスを利用した    | 0  |
| 保護者が仕事を休めた     | 13 |
| 祖父母などにみて貰えた    | 8  |
| 事前に診察を受けられなかった | 4  |
| その他            | 1  |



<「その他」の詳細…>

・利用をする予約をしていないから(発熱など、いつも急なことが多かったから)

7. 今後、機会があれば利用したいと思いますか(18世帯)

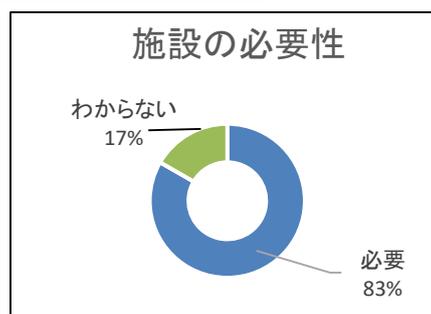
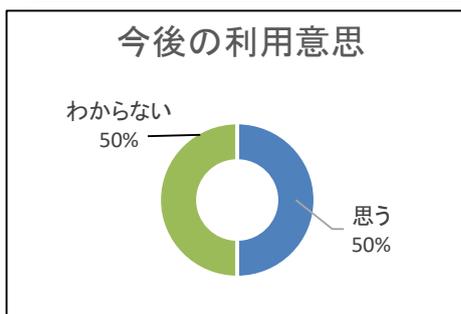
| 計  | 思う | 思わない | わからない |
|----|----|------|-------|
| 18 | 9  | 0    | 9     |

8. 病児・病後児保育施設が、今後も必要だと思いますか(18世帯)

| 計  | 必要 | 必要ない | わからない |
|----|----|------|-------|
| 18 | 15 | 0    | 3     |

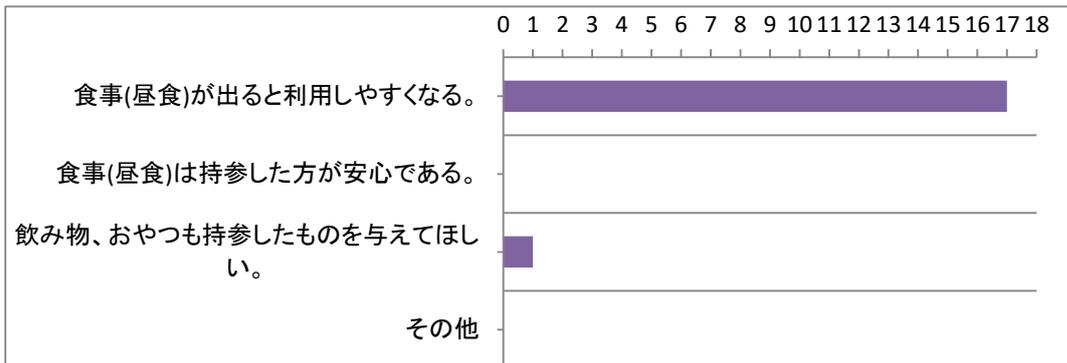
<「必要ない」の理由>

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| サービスが使いづらい                       | 0 |
| 料金が高い                            | 0 |
| システムに柔軟性がない                      | 0 |
| 保育内容が不満                          | 0 |
| 病児保育よりも、親が仕事を休むことができる体制整備をすすめるべき | 0 |
| その他                              | 0 |



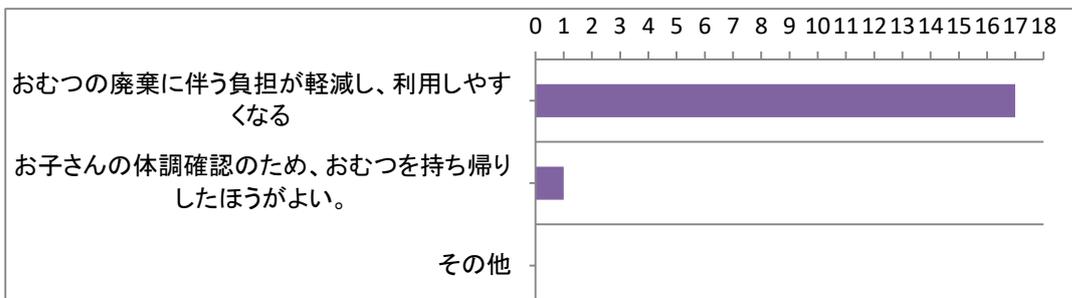
9. 平成30年4月より、飲み物・おやつのほか昼食の提供を開始しました。食事についての評価・感想（18世帯）

|                        |    |
|------------------------|----|
| 食事(昼食)が出ると利用しやすくなる。    | 17 |
| 食事(昼食)は持参した方が安心である。    | 0  |
| 飲み物、おやつも持参したものを与えてほしい。 | 1  |
| その他                    | 0  |



10. 病児・病後児保育施設では令和6年4月より、利用するお子さんの使用済みおむつを保護者の持ち帰りから施設で廃棄する取り扱いとしています。この事業についての評価・感想を、お答えください。（18世帯）

|                              |    |
|------------------------------|----|
| おむつの廃棄に伴う負担が軽減し、利用しやすくなる     | 17 |
| お子さんの体調確認のため、おむつを持ち帰ったほうがよい。 | 1  |
| その他                          | 0  |



**【考察】**

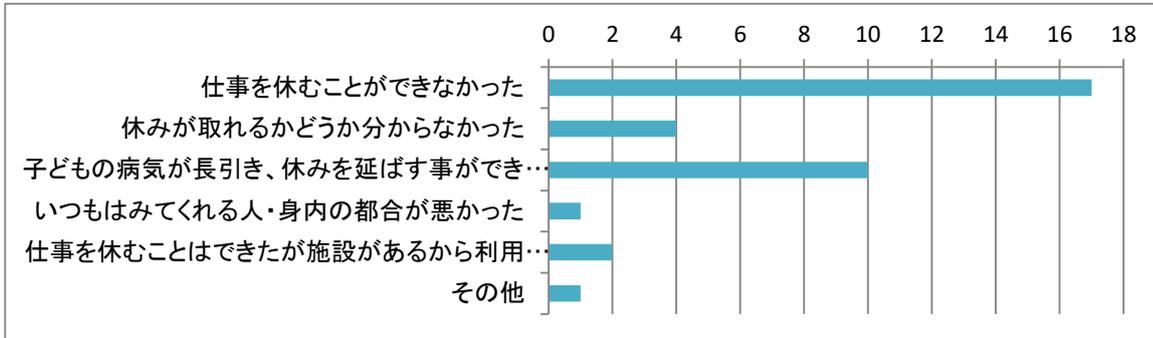
施設を利用したことがない世帯の理由として、「保護者が休めた」や「祖父母などにみて貰えた」という記述が多かった。

また、「今後も病児・病後児保育施設が必要である」と答えた世帯が8割程度で、利用したことがない世帯においても、施設自体が万が一の時の安心感につながっている。

## ～利用したことがある方～

### 11. 病児・病後児保育施設を利用した理由(21世帯)【複数回答】

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 仕事を休むことができなかった            | 17 |
| 休みが取れるかどうか分からなかった         | 4  |
| 子どもの病気が長引き、休みを延ばす事ができなかった | 10 |
| いつもはみてくれる人・身内の都合が悪かった     | 1  |
| 仕事を休むことはできたが施設があるから利用した   | 2  |
| その他                       | 1  |

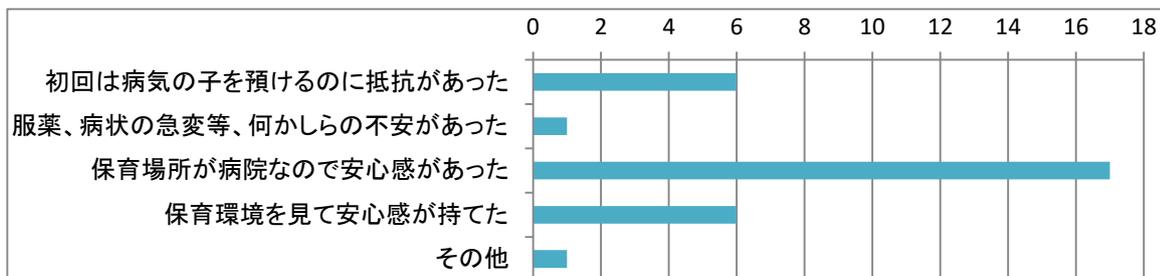


<「その他」の詳細…>

・仕事は休めそうだが、すでに数日休んでおり、休むのに気が引けた。

### 12. 病児・病後児保育施設を利用した感想(21世帯)【複数回答】

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 初回は病気の子を預けるのに抵抗があった   | 6  |
| 服薬、病状の急変等、何かしらの不安があった | 1  |
| 保育場所が病院なので安心感があった     | 17 |
| 保育環境を見て安心感が持てた        | 6  |
| その他                   | 1  |

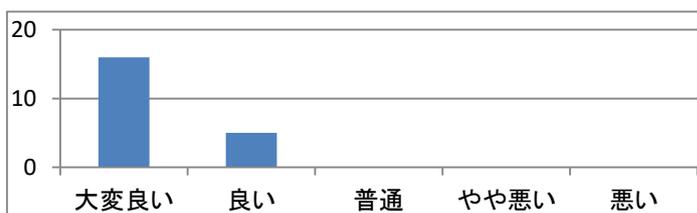


<「その他」の詳細…>

・利用するまでの敷居が高い(手続きが難しいや予約が大変など)と感じていたが、やってみるとそこまで大変ではなく感じた。

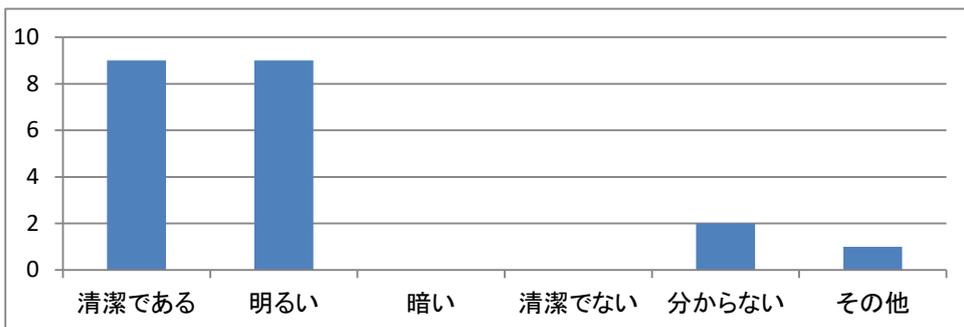
### 13. 保育士の対応について(21世帯)

| 計  | 大変良い | 良い | 普通 | やや悪い | 悪い |
|----|------|----|----|------|----|
| 21 | 16   | 5  | 0  | 0    | 0  |



14. 施設的环境について(21世帯)【複数回答】

| 計  | 清潔である | 明るい | 暗い | 清潔でない | 分からない | その他 |
|----|-------|-----|----|-------|-------|-----|
| 21 | 9     | 9   | 0  | 0     | 2     | 1   |

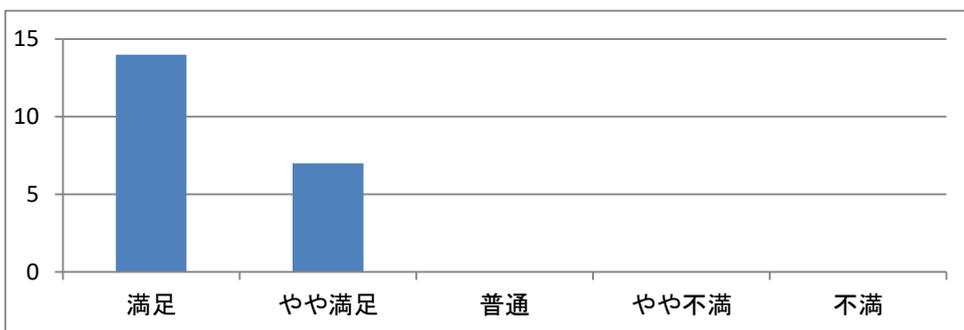


<「その他」の詳細…>

・預けた時は自分の子1人でしたが他児もいると狭く感じる。

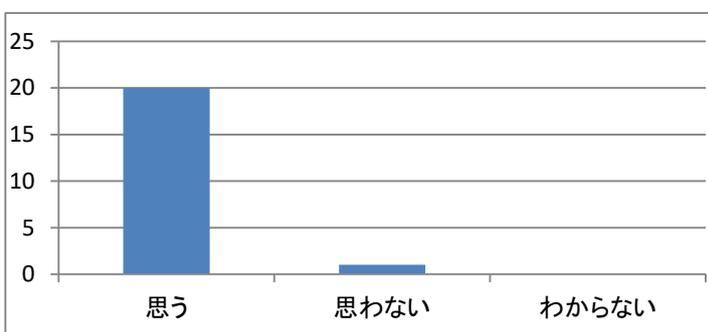
15. サービス全体の評価について(21世帯)

| 計  | 満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 不満 |
|----|----|------|----|------|----|
| 21 | 14 | 7    | 0  | 0    | 0  |



16. 今後も利用したいと思います(21世帯)

| 計  | 思う | 思わない | わからない |
|----|----|------|-------|
| 21 | 20 | 1    | 0     |



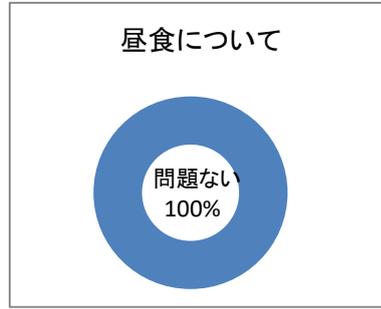
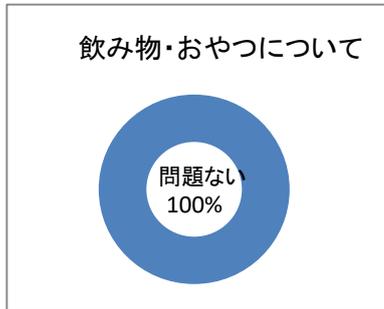
17. 平成30年4月より、飲み物・おやつのほか昼食の提供を開始しました。食事についての評価・感想(21世帯)

①飲み物・おやつについて

| 計  | 問題ない | 改善すべき | 無回答 |
|----|------|-------|-----|
| 21 | 21   | 0     | 0   |

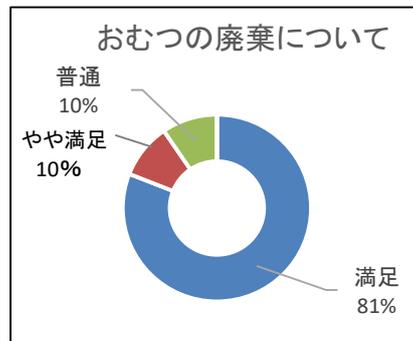
②昼食について

| 計  | 問題ない | 改善すべき | 無回答 |
|----|------|-------|-----|
| 21 | 21   | 0     | 0   |



18. 病児・病後児保育施設では令和6年4月より、利用するお子さんの使用済みおむつを保護者の持ち帰りから施設で廃棄する取り扱いとしています。この事業についての評価・感想をお答えください。(21世帯)

| 計  | 満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 不満 |
|----|----|------|----|------|----|
| 21 | 17 | 2    | 2  | 0    | 0  |



【考察】

施設を利用した理由として、仕事を休むことができなかった、子どもの病気が長引き、休みを延ばす事ができなかったという声が多い。

利用者の感想においては、保育場所が病院なので安心感があった、保育環境を見て安心感を持てたという声が多い。また、昼食提供や使用済みおむつを施設で廃棄する対応を行っていることも、サービス全体の満足度の高さにつながっていると考えられる。

・・・今後の病児・病後児保育に望む改善・要望・・・

|  |
|--|
| <p>・以前利用したとき、子供はとても楽しそうだったし、親も安心して預けることができた。今年度は利用はなかったと思うが、今後も利用の可能性はあるので、どうぞよろしくをお願いします。</p>   |
| <p>・利用対象が小3までで春からは利用できなくなります。喘息体質で悪化すると夜通し咳込み発作時の吸入が欠かせず、学校にも行かせられません。4年生になっても一人で留守番させられないです。預かってくれる親もいません。子供も少なくなっている中、対象年齢をせめて6年生くらいまでに拡大していただけないでしょうか。今年の春から拡大していただけると安心です。</p> |
| <p>・コンビニで支払いをできるようにしてほしい。</p>  |
| <p>・予約状況を知れると嬉しいなと思います<br/>(1日の利用人数決まってるんですね、??)</p>   |
| <p>・おむつを持っていかなくても、お金を払えば施設のを使えるようにしてほしい</p>  |
| <p>・色々コメントさせてもらいましたが、利用自体は大変満足なものでした。初めて預ける際には私も子供も不安でしたが丁寧に対応くださり、保育中の様子もたくさん写真を撮って細やかな記録も残してくださり、安心につながりました。ありがとうございました。</p>   |
| <p>・病児保育で、大変助けられております。こまめな観察や子どもの写真を、沢山撮影して冊子にしてくれており、ありがたく思います。職員さんの負担にならければと思います。</p>  |
| <p>・子供が病気の時は、親や慣れ親しんだ家族が休んでみてあげることが望ましいと思う。この施設を充実させるというよりは、職場の環境を変えることに力をいれていってほしいと思う。</p>  |

【考察】

対象児童数484人（4月1日現在）に対し、令和6年度の登録者数は83世帯115人（2月12日現在）で全体の23.8%、そのうち回答者は39世帯で47.0%であり、回収率は前年度と比べ減少した。

総合的に実際の利用者からの満足度は非常に高い。しかしながら、利用料金について、連続しての利用や兄弟での同時利用に伴う経済的負担が大きく、料金の見直しや助成を求める声が見られる。

また、予約方法や空き状況の確認について、アプリやホームページ等での手続きのシステム化や簡略化を望む声が見られる。

登録者のうち未利用の世帯において「これまで施設を利用しなかった理由」では、保護者が仕事を休めた、祖父母などに見て貰えたという回答が多く、「今後も病児・病後児保育施設が必要である」と答えた世帯が8割程度いることから、利用したことがない世帯においても、施設自体が万が一の時の安心感につながっている。

施設的环境について、「保育場所が病院なので安心感があった」、「保育環境を見て安心感を持てた」という声が多く、保育士の対応についても、細かな配慮が評価されている。

また、令和6年4月から施設における使用済みおむつの廃棄を実施していることも、サービス全体の満足度の高さにつながっていると考えられる。

病児・病後児保育施設の対象児童の範囲や利用の仕方について、しおりやホームページで周知を行っているが、今後も病児・病後児保育への理解を深め、どうしても休みが取れない、保育ができないという家庭にとってのセーフティネットとして、また子どもにとっての安全安心な環境として事業を継続していくことが必要である。